

# ジェイアールバス東北本部

第36号

2022年3月25日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内  
NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983  
発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

## 申6号「組合員の声に基づく総合労働条件改善の実現を求める申し入れ」 について団体交渉を行う！④

1 1. 契約社員に対して退職金制度を設け、支給額は勤続年数を最大限考慮すること。  
また、扶養手当を支給すること。

(組合) 同一労働・同一賃金の観点からも契約社員に対しても退職金制度を設け、  
扶養手当を支給すること。

(会社) 同一労働・同一賃金のなかで、違法であるとの判例が出ていない。その結果を  
見ながら検討していくことになる。職場からも声を聞いており、長く働いて  
いることも理解している。全くやらないではなく、検討はしている。

1 2. 受託事業所の人材流出が深刻であることから労働条件を改善するため、都市部  
受託加給を増額すること。

(組合) 白沢・七北田事業所で退職者が多い。待遇改善は不可欠である。都市部受託  
加給を増額すること。

(会社) 白沢・七北田事業所に限って辞めているわけではない。他の箇所でも退職者  
が出ている。全体的にどうするか考えていかなければならない。

1 3. 受託事業所については安全運転表彰のキロ換算率を実走行キロの3倍とするこ  
と。

(組合) 受託事業所は、安全運転表彰で高速路線を持つ支店と比較して走行距離が短く  
不公平感がある。また、走行距離に間違いがないのかとの不信感もある。  
モチベーション向上のためにも受託事業所については安全運転表彰のキロ  
換算率を実走行距離の3倍とすること。

(会社) 今のところは現行通りとするが、合わせなければならない部分があるかも  
しれない。少し勉強させてもらいたい。また走行距離については、見える化  
の方向で進めていく。

1 4. 60歳以降の働き方について、身体的に不安のある社員に対しては、本人希望を  
尊重し、時短行路を設けるなど安心して働くことができる環境を整えること。

(組合) バス東北でも60歳を超える社員が年々増加傾向にあり、身体的な不安の  
ある社員もいる。本人希望を尊重し、安心して働くことが出来る環境を整備  
すること。

(会社) 2022年度65歳以上の契約社員雇用契約から、短日労働を選べるようにした。